

あすへの活力に

松井すみ子さん
主婦 天間(33歳)



余暇！私を含め多くの主婦にとって余暇は、あるようでないようなものではないでしょうか。

あれもやりたい、これもやってみないと、やりたいことはいっぱいあるのですが、子育てや日常の家事に追われているのが現状です。

こんな中で、私にとってこれも余暇の過ごし方の一つかなと思うのは、地域のリスさんクラブに所属して、

子供たちに交通ルールを教える活動をしていることです。

わかりやすく教えるために、現在ぬいぐるみを使っての劇を猛練習しています。

また、私が最大限、余暇を満喫できるのは、年2回、子供の春休み、夏休みを利用しての家族旅行です。

この家族旅行によって、あわただしく過ごしてたまったあかを、洗い流せている気がします。どんな過ごし方でもよいから、あすへの活力となるような余暇を、と思っています。

料理に挑戦

渡辺幸代さん
会社員 原田(22歳)

「休みの日は何をしているの？」と聞かれると、何をしたかなと考えなければ思い出せない私。

でも、何の予定もなくとも休みは待ち遠しいものです。

休みというと、大抵が友だちとドライブ、おしゃべり、ショッピングなどありふれた過ごし方をしてしまい、



本当に無趣味なんだなあと自嘲してしまいます。

そんな私が、何かやってみようと思立ち、この4月から料理を習うことにしました。

ささいもない習いごとの一つですが、今まで何もしたことの無い私にとっては重大な決心です。

ついだらだらと過ごしてしまいがちな余暇。今は独身で気楽に過ごしている私ですが、だからこそ自由になる余暇を大切に、青春を思う存分謳歌できればと、心ひそかに思っています。

地域に根ざした活動をねらいとする浮島青年団。昭和五十八年の十一月には、自分たちが集めた資金で、地元のパス停に時計台を設置。富士まつりや地区文化祭への協力はもちろん、現在、沼津線に花壇を設置しようと準備中。

人形劇を始めたのは昭和五十四年から。第一作目は地元
の伝説を素材とした「愛鷹
のほら貝」。最近のは六
作目で「ほら
貝の伝説」。
ことしの地
区文化祭、そ
れに二月に行
われた市の青
年祭で上演し
大勢の人が
好評を得た。
すべてのも
のが脚本から演出まで団員の
自作自演であり、昨年からは老
人ホームへの慰問も始めた。
現在、保育園や幼稚園から
の上演申し込みもあり、団員
たちは「せひ、やってみたい」
と張り切っている。
悩みは練習場の確保だとい
う。男十七名、女十四名のリ
ーダーである中西さんに寄せ
る団員の期待は大きい。



昨年の全国青年大会で上演した人形劇「花さき山」が見事に優秀賞を受賞。

浮島青年団のリーダー

中西一久さん

西船津(26歳)